

### 第3 危険物取扱者試験の実施及び危険物取扱者等の育成等

本項目では、令和元年度中の危険物取扱者試験や講習等の実施状況、危険物安全週間中に実施された行事の実施状況等についてまとめています。

#### 1 危険物取扱者試験等の実施状況

##### (1) 危険物取扱者試験

危険物施設における危険物の取扱いは、法第13条第3項より危険物に関する正しい知識と一定の技能を有する危険物取扱者免状の交付を受けている者でなければ行うことができず、資格のない者は危険物取扱者の立会いがなければ取り扱うことができません。

危険物取扱者試験の実施に関する事務について、東京都知事は、昭和60年4月1日から一般財団法人消防試験研究センターに委任しています。また、昭和63年4月1日からは危険物取扱者試験の合格者に対する免状の作成及び交付事務を、平成元年4月1日からは書換え・再交付事務に係る免状作成事務を、平成22年8月1日からは書換え・再交付に係る免状交付事務の一部を、令和2年4月1日からは書換え・再交付に係る免状交付事務の全部を同センターに委託しています。

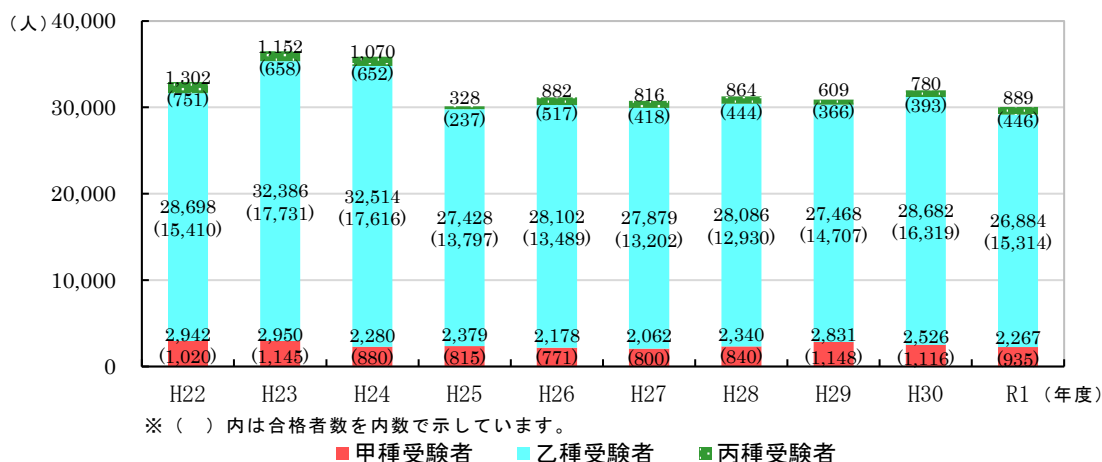
危険物取扱者の免状は、甲種、乙種及び丙種の3種類に区分され、試験に合格した者に交付されています。東京都における危険物取扱者試験の実施状況、令和元年度中の受験状況については第11表のとおりです。

第11表 東京都における危険物取扱者試験の実施状況（令和元年度中）

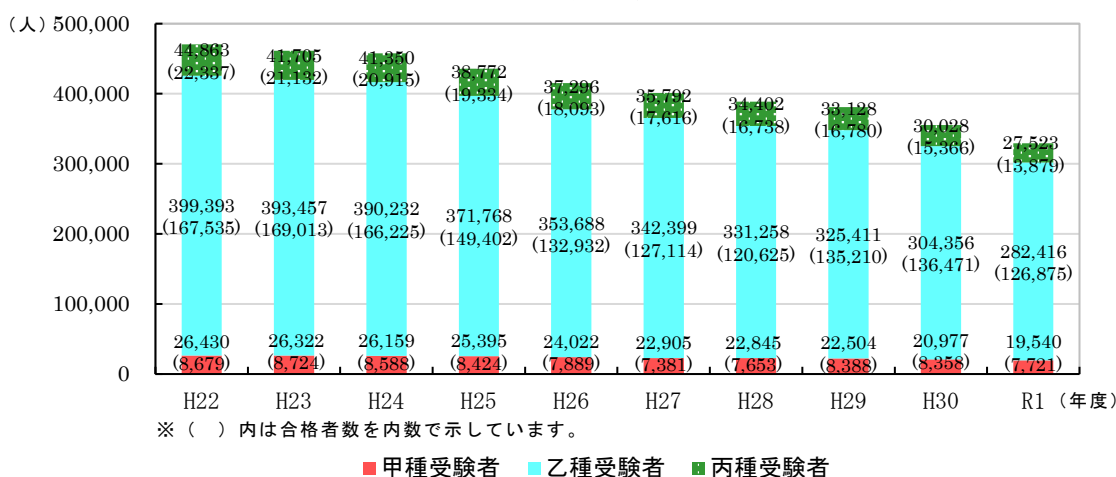
試験区分		受験者（人）	合格者（人）	合格率（％）
甲種		2,267	935	41.2
乙種	第1類	737	596	80.9
	第2類	775	603	77.8
	第3類	1,078	829	76.9
	第4類	22,503	11,900	52.9
	第5類	996	758	76.1
	第6類	795	628	79.0
	小計	26,884	15,314	57.0
丙種		889	446	50.2
合計		30,040	16,695	55.6

最近 10 年間の危険物取扱者試験の受験状況の推移をみると、平成 25 年度に約 5,700 人減少し、その後 7 年間は概ね 30,000 人前後を保っています（第 28 図参照）。

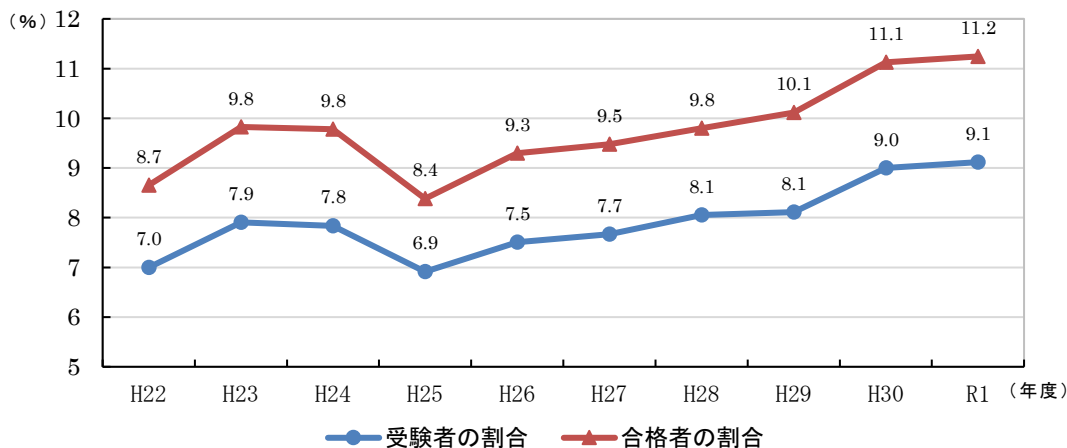
また、全国で実施された危険物取扱者試験の受験人数は年々減少しており、最近 10 年間で約 140,000 人減少しています。全国の受験者数に対する東京都の受験者数の割合は全国の受験者数の減少に伴い増加しており、令和元年度では約 9.1%、合格者数では約 11.2%となっています（第 30 図、第 29 図参照）。



第 28 図 東京都における危険物取扱者試験の受験状況（最近 10 年間）



第 29 図 全国における危険物取扱者試験の受験状況（最近 10 年間）



第 30 図 全国に対する東京都の受験者及び合格者の割合の推移（最近 10 年間）

## (2) 免状の書換え・再交付

危険物取扱者免状に記載されている本籍、氏名等に変更があった場合は書換えが必要です。また、免状を亡失、破損等した場合は再交付を受けることができます。平成元年4月1日からは、当該免状の写真が10年を経過するまでに、写真の書換えが必要となりました。最近5年間の書換え・再交付申請件数の推移は第12表のとおりです。

令和元年度の書換え件数は、写真以外の書換えが128件で前年度より28件減少し、写真書換えは6,607件で前年度より809件増加しています。また、再交付件数は910件で、前年度より7件増加しています（第12表参照）。

**第12表 東京都における危険物取扱者免状の書換え・再交付状況（最近5年間）**

申請別		年度				
		H27	H28	H29	H30	R1
書換え (件)	写真以外	192	185	165	156	128
	写 真	6,505	6,180	5,570	5,798	6,607
再交付 (件)		1,015	901	866	903	910

## 2 危険物取扱者保安講習

危険物取扱者保安講習は、危険物施設等の形態によって受講者を区分して実施し、危険物規制の概要、危険物施設の安全管理等に関し視聴覚教材を活用した講習を行っています。なお、危険物取扱者保安講習の実施に関する事務の一部は、昭和61年4月1日から公益財団法人東京防災救急協会に委託しています。

令和元年度中は、東京都において危険物取扱者保安講習を33回実施しました。また、平成30年8月に東京国際空港地区が石油コンビナート等特別防災区域に指定されたことに伴い、講習区分に第6コンビナートが追加され、令和元年度は2回実施しました（第13表参照）。

**第13表 東京都における危険物取扱者保安講習の実施状況（令和元年度中）**

区分	従 事 施 設	実施回数 (回)	受講修了者 (人)
第1	給油取扱所	7	1,596
第2	製造所・一般取扱所	5	1,098
第3	屋外タンク貯蔵所・屋内タンク貯蔵所・移送取扱所	2	256
第4	地下タンク貯蔵所・移動タンク貯蔵所	6	1,301
第5	屋内貯蔵所・屋外貯蔵所・簡易タンク貯蔵所・販売取扱所	3	579
第6	コンビナート	2	20
特定	全区分	8	784
合 計		33	5,634

### 3 危険物安全週間中の各種行事等

危険物の保安に関する意識の高揚及び啓発を推進し、各事業所における自主保安体制の確立を図るため、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」として各種行事等を実施しています。

令和元年度は「知っておこう 暮らしの中の 危険物」を推進標語として6月2日（日）から8日（土）の間、研修会や自衛消防訓練、消防演習等を実施しました（第14表参照）。令和元年度の危険物安全週間中の行事实施件数は前年度より2,981件減少し、参加人数は10,748人減少しています。

また、4日（火）には富士アミドケミカル株式会社（北区浮間五丁目8番18号）において、消防演習を実施しました。東京湾北部を震源とする直下型地震により、屋外タンクから危険物が漏れ、その後の余震により火災が発生するとの想定で、消防車両10台、ドローン1台、赤羽消防団、富士アミドケミカル（株）自衛消防隊、東京危険物災害相互応援協議会及び赤羽地区危険物施設防災相互応援協力会事業所等の方々が参加し、土のうによる危険物の漏れい拡散防止活動や消防隊との連携による消火活動など、実践的な演習を行いました。演習の最後には参加隊による一斉放水を行い、危険物施設の安全を守る勇姿に見学者からは大きな拍手があがりました。



土のうを活用した流出防止活動



一斉放水の様子

第14表 危険物安全週間の行事实施結果及び参加人数（令和元年度中）

種別	実施状況	実施件数	参加人数	従事職員数
研 修 会 等		108 (-46)	4,902 (-320)	375 (-235)
訓 練 ・ 演 習 等		1,080 (+247)	67,995 (+1,413)	2,824 (-765)
立 入 検 査		646 (-125)	1,718 (-278)	1,718 (-278)
事 業 所 指 導		1,121 (-51)	2,390 (-950)	1,277 (-123)
広 報 活 動		4,886 (-2,623)	3,030 (-238)	2,622 (-569)
そ の 他		613 (-383)	11,513 (-10,375)	724 (-1,099)
合 計		8,454 (-2,981)	91,548 (-10,748)	9,540 (-3,069)

※（ ）内の数字は前年度からの増減数を示している。

※ 参加人数は従事職員数を含む。